

# 地熱発電の資源量調査・理解促進事業費補助金

## 令和2年度概算要求額 135.0億円（86.5億円）

### 事業の内容

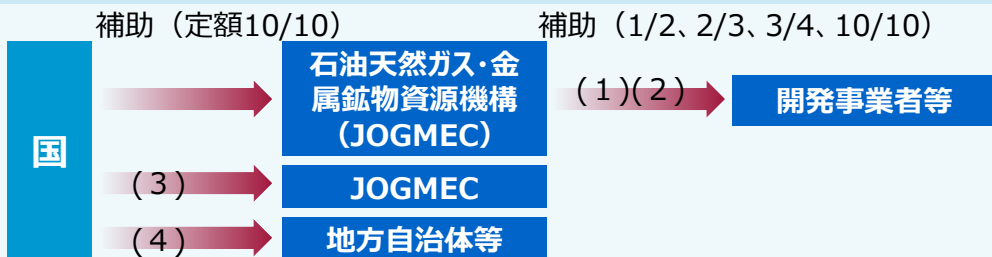
#### 事業目的・概要

- 我が国は世界第3位の地熱資源量（2,347万kW）を有しており、地熱発電は、主に以下4つの利点があることから、その導入拡大が期待されています。
  - a) CO<sub>2</sub>排出量がほぼゼロかつ持続的な発電が可能な再生可能エネルギー
  - b) 天候等の自然条件に左右されず安定的な発電が可能なベースロード電源
  - c) 燃料費がかからず、長期に稼働するため、発電コストが低い電源
  - d) 発電後の熱水利用など、エネルギーの多段階利用が可能
- 一方で、他の再生エネと比べ、地下構造の把握や資源探査に係る開発リスク・コストが高いといった課題があります。
- このため、本事業では、事業者が実施する地熱資源量の把握のための地表調査や掘削調査など、開発リスクが高い初期調査に対する支援を行います。また、新規の有望地点を開拓するためのポテンシャル調査を行うことにより、地熱発電の更なる導入拡大を図ります。
- さらに、地熱開発に対する地域住民等の方々の理解促進に向け、地熱発電に対する正しい知識の共有等を行うための勉強会なども支援を行います。

#### 成果目標

- 本事業を通じ、地質構造の把握によって、地表調査から掘削調査に移行した件数と、調査段階から探査・開発段階に移行した件数を、採択件数の6割程度とすることなどを目指します。

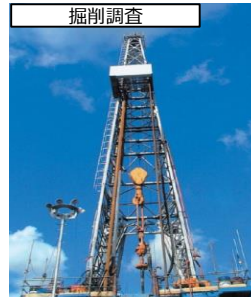
#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### （1）地表調査・掘削調査＜補助率：1/2、2/3、3/4＞

- 有望な地熱開発地点において、地熱資源量の把握に向けた地表調査（地上で機器を使用した計測等の手法）について支援を行います。  
（※）地方自治体等が行う調査については補助率3/4
- 地下の地熱資源の状況を把握するための掘削調査について支援を行います。
  - ① 重点開発地点＜補助率：3/4＞  
（2.5万kW以上の大規模開発が見込まれるもの、地質情報が明らかではなく開発リスクが高い地点等）
  - ② ①以外の2.5万kW以上の大規模開発地点  
＜補助率：2/3＞
  - ③ 2.5万kW未満の開発地点＜補助率1/2＞  
（※）地方自治体等が行う調査については①～③とも補助率3/4



掘削調査

#### （2）モニタリング調査等＜補助率：10/10＞

- 地熱開発を円滑に実施する上で重要な、温泉の流量・成分等のモニタリング等について支援を行います。

#### （3）ポテンシャル調査＜補助率：定額＞

- 地熱開発の新規有望地点を開拓するため、空中物理探査（地下構造を把握）、ヒートホール掘削（地下の温度構造を把握）、先導的資源量調査（高いポテンシャルが期待される一方、開発難易度が高い地点において蒸気・熱水分布を把握）をJOGMECが実施します。

#### （4）理解促進支援事業＜補助率：10/10＞

- 地熱開発に対する地域住民等の方々の理解促進に向けた勉強会などについて支援を行います。（対象：開発規模1,000kW以上）
- 地熱開発地点の周辺の温泉において、万が一何らかの理由により温泉の湧出量等が過度に減少した場合に、温泉井戸の代替掘削について支援を行います。（対象：開発規模5,000kW以上）